

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2018年1月18日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University of Nebraska Omaha
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年12月22日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:1月中旬～5月上旬 2学期:8月下旬～12月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	15731人
創立年	1908年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	2807	280700円	学生寮
食費	1890	189000円	
図書費	309	30900円	
学用品費	10	1000円	
教養娯楽費	10	1000円	大学の施設やイベントは大体無料で参加できるため
被服費	345	34500円	
医療費	10	1000円	
保険費	900	90000円	形態:大学指定のもの
渡航旅費	2350	235000円	留学生特別価格のある会社を利用
雑費	400	40000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>9031</b>	<b>903100円</b>	

## 渡航関連

渡航経路: 飛行機

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	117500 円
復路	117500 円
合計	235000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

STAトラベル

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の学生寮

2) 部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 )

3) 住居を探した方法:

大学のホームページ

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Wi-Fi のつながりも良く、広さもそれなりにあって良い環境だったと思います。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった  
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達に相談しました。窓口も別にありました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のサービスを利用していたため、そこから現地の情報を得ていました。実際の事件には巻き込まれませんでした。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

日本にいるときと変わらないくらい、調子は良かったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で開設した口座から、カードで引き落とししていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

現地では高いので、簡単な日本食セットは持っていきべきです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
明治大学行政研究所
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
公務員
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就職先は特に変わりません。ただ、政治や社会に対して日本では考えたこともないような活動をしている人々をアメリカで見て、世界の広さと、社会人としてできることの多さを改めて感じました。これによって、希望する就職先の候補も広がったように思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro Latino/Latin American Studies	ラテンアメリカ学入門
科目設置学部・研究科	Latino/Latin American Studies
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jasney Cogua-Lopez
授業内容	ラテンアメリカ諸国の歴史や環境問題など、全般を薄く広く扱う
試験・課題など	中間試験と最終プレゼン有
感想を自由記入	入門ということもあって、あまり一つの分野を重点的に扱ったりはしませんでした。様々なトピックに触れられて、わくわくする授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Chicano Studies: Humanities	チカーノ学入門 ヒューマニティー編
科目設置学部・研究科	Latino/Latin American Studies
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Lina Traslavina Stover
授業内容	主にメキシコからアメリカへ来た移民の人々の歴史や現状について、音楽や教育の現場など、様々な視点から捉えようとしたもの
試験・課題など	五回ほどの小レポート、中間発表と最終レポート有
感想を自由記入	最も発表が多かった授業で、とても緊張しましたが、クラスメイトに移民の人が多く、第二言語が上手くないことにはかなりの理解があったため、よく助けてもらいました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Chicana/o Studies: Social Sciences	チカーノ学入門社会科学編
科目設置学部・研究科	Latino/ Latin American Studies
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Thomas Sanchez
授業内容	主にメキシコからアメリカへ来た移民が、どうやってそこで社会的な権利を勝ち取っていったのか、それまではどんな扱いを受けていたのか、を学ぶ授業。
試験・課題など	月に一度のテストに加え、三つほどのレポート有
感想を自由記入	プレゼンテーションの機会は少なかったものの、レポートの提出回数やリーディングの量がかかり多く、おそらく今回で一番、授業準備に時間がかかったクラスです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Ntve American Studies	ネイティブアメリカ学入門
科目設置学部・研究科	Native American Studies
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Regina Robbins
授業内容	ネイティブアメリカンの歴史や、社会に定着してしまった彼らへのステレオタイプについて、主に話し合い学ぶ授業。
試験・課題など	各自のフィールドワーク、中間発表、最終プレゼン有
感想を自由記入	各自でネイティブアメリカンに関するイベントや場所に赴き、レポートする課題が印象的でした。百聞は一見に如かず、をポリシーにしている教授だったように思います。

留学に関するタイムチャート
---------------

2016年 1月～3月	留学を決意
4月～7月	留学の制度を確認
8月～9月	来る選考に向けて志望理由などを考え始める
10月～12月	選考期間中
2017年 1月～3月	学内選考を通る
4月～7月	語学の勉強や、卒業後のための資格取得に向けての勉強を始める
8月～9月	留学開始
10月～12月	中間、期末試験を終えて、日本に帰国
2018年 1月～3月	留学報告書を作成
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	私はラテンアメリカに興味があり、将来もその地域に関連した職に就きたいと考えています。そのための第一歩として、ラテンアメリカの雰囲気や、その地域が与えている影響などを肌で感じて学びたいと思い、留学を志すようになりました。事前にそういった環境や状況を体感しておくことで、就きたい職に就く際にも、また、就けた後にも有利になれるのでは、とも考えていました。さらに、私は能を学んでいますし、アニメや漫画も大好きということで、外国の人々に伝えたい日本文化がたくさんあるということも、留学を目指した理由の一つでした。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	やはり、語学力の向上が何より留学を助けてくれるものです。留学前は単語集などを使って語彙力を鍛えていました。しかし、新たに始めたアルバイトなどのために、思っていたより事前準備が捗らなかったため、その点は確かに心残りです。留学前の期間は、できるだけ準備に時間を使えるよう、スケジュールを立てておくと思いいます。また、語学の他には能の練習や、アニメ文化など日本文化についての勉強もしておきましたが、実際にその場でそれらの説明を英語で行うのは大変でした。
この留学先を選んだ理由	私はラテンアメリカに興味があり、将来もその地域に関連した、もしくは貢献できる職に就きたいと考えています。そのため、当初はスペイン語が広く使われている国へ留学しようと考えていましたが、自分のスペイン語能力や、就職試験のための勉強期間などと相談した結果、英語が使えて、ラテンアメリカに近い、アメリカを留学先として選ぶことになりました。私が留学した大学にはラテンアメリカ学の授業も充実していましたから、私の希望にピッタリだったのです。
大学・学生の雰囲気	このキャンパスは非常に広大でした。施設も学部で分かれていくつかあり、それらの間をシャトルバスが頻繁に行き来するのは、初めてアメリカに留学した私には衝撃的な光景でした。東京では見たことがないシステムだからです。広く、設備の充実したジムは、屋内プールやボルダリングなどが楽しめるほかに、健康についてもなんでも相談できるという、学生に人気の施設でした。この他にも学生に対する様々なサポートがなされているおかげか、ネブラスカ・オマハの学生は、その多くが積極的に学内イベントに参加する、活発な人々でした。発言したいことを堂々とイベントで発信していく姿に、日本ではあまり見ない何かを感じたように思います。
寮の雰囲気	私は学生寮に滞在するのは初めてであったため、最初はかなり緊張しました。しかし、ルームメイト達と会ってからは、だんだんとそれが杞憂であることが分かってきました。ルームメイト達は、確かにそれぞれのやり方をもって生活していましたが、お互いを尊敬しあう気持ちを常に意識することで、衝突などすることもなく暮らしていけました。さらに、寮の近くのクラブハウスでは、ほぼ毎週スポーツ中継観戦会などのイベントが催されていて、これらもルームメイト達や他の寮生達と仲を深めるきっかけになっていました。
交友関係	内気な性格が災いして、分かってはいても、なかなか人に話しかけることができずにはいましたが、なぜか日本人留学生ということで興味を持ってくれた学生も数人いて、彼らの人間関係からさらに友達を増やすことができました。クラス内でアジア人が私くらいしかいなかったことも要因の一つだとは思いますが、どうやらアニメ好きな学生が多いことも私に興味をもった大きな理由だったようです。私はアニメや漫画が大好きで、その関連で、より深い仲になれた友達も数人います。大学のアニメ同好会では初の日本人メンバーとして迎えられ、彼らに紹介してもらったネブラスカ州でも大きめのアニメ関連イベントに参加もできました。趣味や嗜好は本当に言語を超えて親しくなるツールになるのだな、と感じました。
困ったこと、大変だったこと	私が最も困ったのは、平日はルームメイトが一切、皿を洗わないということでした。シンクにどんどん重ねられていく汚れた食器類を避けるために、水曜日にもなると、そのシンクではフライパンも満足に洗えないことも珍しくありませんでした。食器は毎日洗う習慣の私としては、始めは受け入れがたいことだと思っていましたが、当のルームメイトには何の悪気もないのだ、ということが分かってからは、さほど気にならなくなりました。コミュニケーションの大切さがよく分かる事例だと思えます。

学習内容・勉強について	私はラテンアメリカ学を専攻していました。聞き慣れない学問ですが、ラテンアメリカ諸国に近いアメリカでは、大学の学部としてはそれほど特殊なものでもないようです。授業内で生徒同士のディスカッションが頻繁に行われるクラスもあり、毎回緊張していましたが、授業準備としてのリーディングも大量に課されるため、授業時間外でも気の休まらない状況でした。講師やクラスメイトとの距離は日本でのそれよりも近かったように感じます。思い切って質問すれば、丁寧に答えてくれます。
課題・試験について	取る授業の組み合わせにもよりますが、課題はとて多く、大型連休の場合によっては潰す必要があったほどです。英語が母語の学生達にとっても多いと言われる量でしたし、当たり前ですが留学生だからと言って課題を減らせるわけでもありません。たまに本気で嫌になってしまうこともありましたが、毎回のテストで頑張った分の結果がでると、その気持ちも消えていくようでした。しかし、本当に大変だと感じた場合は、一旦勉強の全てを中断して遊ぶ、ということも大いに意味のあることで、一つの有効な手段であることを、今回の留学を通して学びました。
大学外の活動について	私はアニメや漫画が大好きなので、アニメ同好会に通い、そこでアニメを観たりメンバーと喋ったりしていました。また、日本人留学生としては、留学フェアに主催者側のお手伝いとして参加したり、日本文化研究会の一員として、地元の博物館のイベントで能の仕舞を舞ったりもしました。こうした活動の中で、アメリカに住む人々が日本に対して予想以上に興味を持っているということが分かりました。日本の文化を英語で説明することの大切さが、身に染みました。
留学を志す人へ	私の場合、留学を決断するには相当な覚悟がいりました。外国で、一人で自分の面倒をみていけるのかすら、私には自信が持てなかったですし、何より言語の違いが不安でした。実際に留学してみると、確かに授業内容も生活も、やる事が多く大変でした。しかし、現地で一緒に学ぶことで得られた友達は、皆良い人たちばかりでした。ここまでお世話になった友達はいないのではないかと、というくらい助けってもらったことで、私の人格や価値観にも少しだけ変化があったように思います。留学は、語学力向上もそうですが、人生において得難い経験を積めるチャンスもあるものです。ぜひ、挑戦してみてください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	授業	起床	課題	起床	課題	課題
	授業	課題	授業	授業	課題	買い物	ゲーム
午後	授業	授業	授業	授業	課題	買い物	友達と課外活動
	授業	授業	授業	授業	課題	ゲーム	友達と課外活動
夕刻	課題	課題	課題	課題	交流会	課題	リラックス
夜	課題	就寝	課題	交流会	交流会	就寝	就寝



